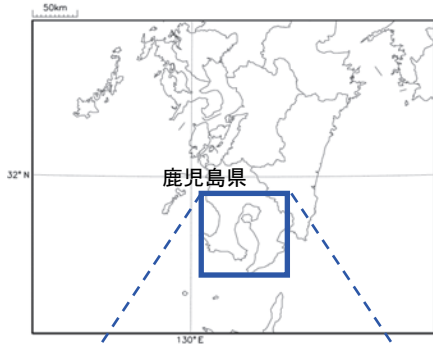
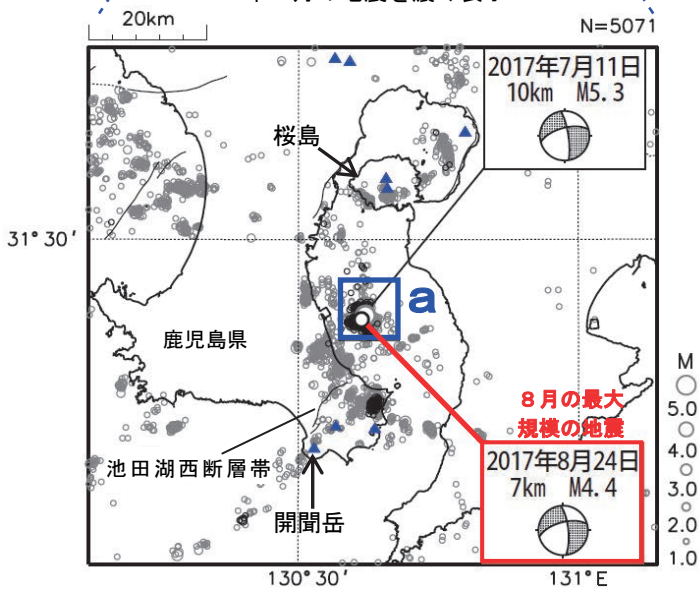


鹿児島湾の地震活動



震央分布図

(2000年10月1日～2017年8月31日、
深さ0～20km、M \geq 1.0)
2017年8月の地震を濃く表示



図中の細線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す

領域 a 内で最大震度 1 以上を観測
した地震の月別・震度別回数表

		震 度						合計
		1	2	3	4	5弱	5強	
2016年	12月		1					1
2017年	1月	1						1
	2月	1						1
	3月	2		1				3
	4月							
	5月	1						1
	6月	1						1
	7月	18		2			1	21
	8月	16	4		1			21
合 計		40	5	3	1		1	50

鹿児島湾（震央分布図領域 a）では、2016年12月頃から地震活動がやや活発となり、2017年7月11日に発生したM5.3の地震（最大震度5強、深さ10km）以降、活発な活動が続いている。この地震活動は地殻内で発生している。このうち、8月の最大規模の地震は、24日14時34分に発生したM4.4の地震（最大震度4、深さ7km）で、発震機構は西北西－東南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。

この地震活動により、2016年12月から2017年8月までに最大震度1以上を観測した地震が50回発生している（下表参照）。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図

